



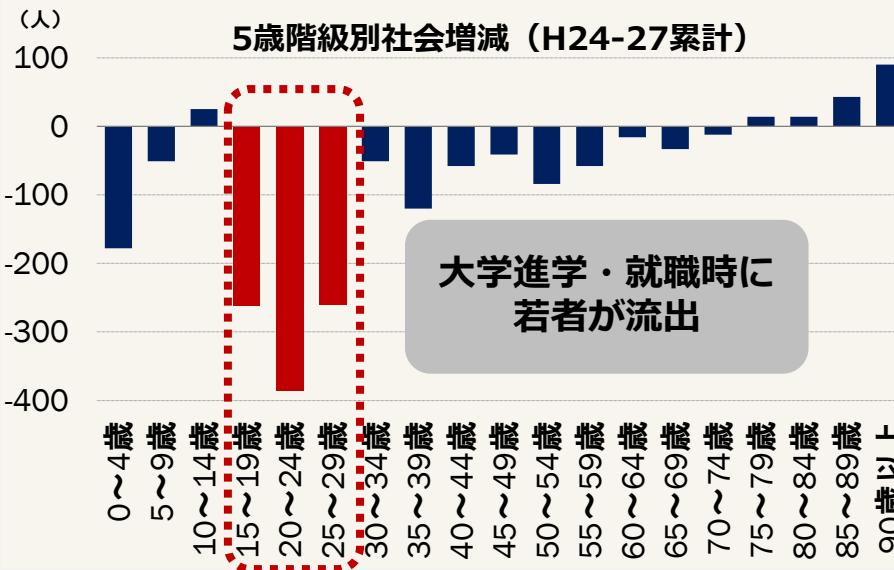
和歌山市の取組 ふるさとで学び働くまち

令和6年11月12日
和歌山市長
尾花 正啓

誘致前の課題

課題① 若年層の県外流出

誘致前、市内大学は**3校のみ**（和大、県立医大、信愛短大）

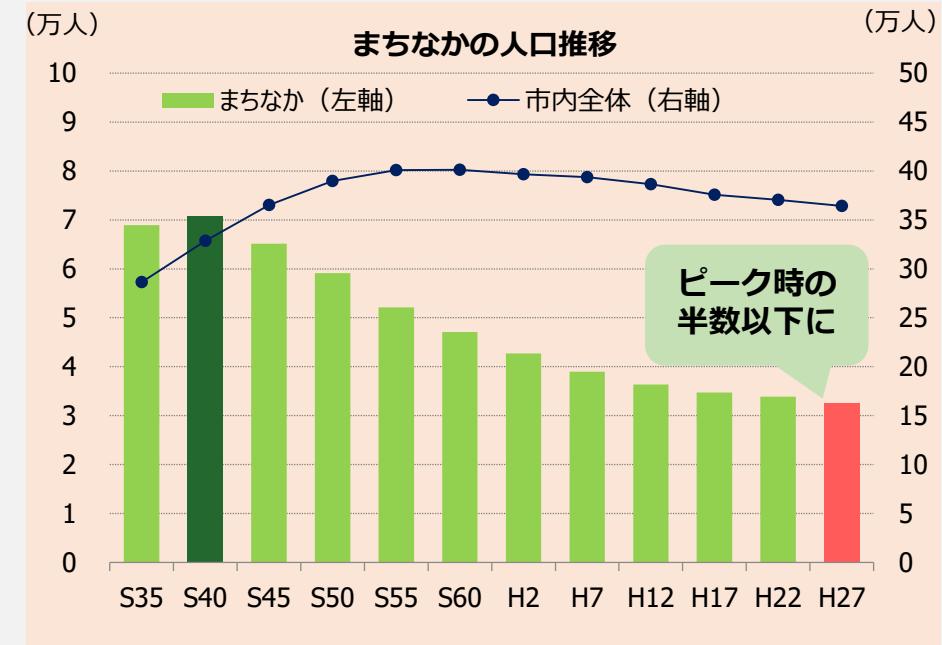


平成27年度の県外進学は全国ワースト1位

出典：学校基本調査

順位	都道府県	県外大学進学率 (%)
	全国	56.4
1	和歌山	89.6
2	佐賀	86.2
3	島根	85.6
45	東京	34.6
46	北海道	31.7
47	愛知	28.0

課題② まちなかの人口減少



まちなかの人口は、S40の約7万人超から、H27ではその半数以下となる約3万人超まで減少
 →少子高齢化による人口の自然減のみならず、他県に比し大学等の立地数が少なく、県外進学率が40年以上ワースト1となるなど、学びの場が少ないことも一因となっていた

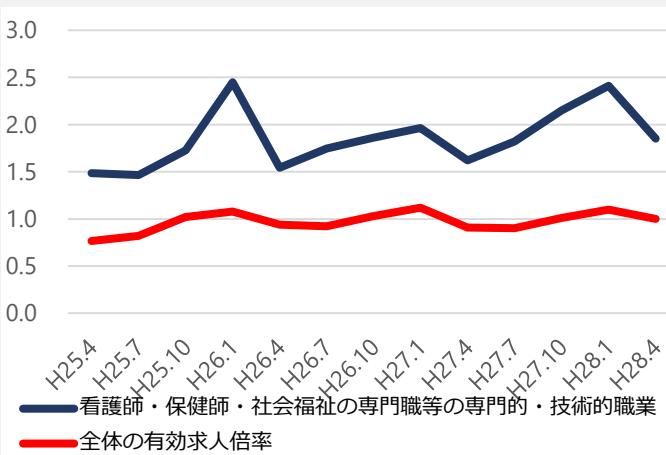
若年層の市外への流出が人口減少の課題に拍車をかけていた

誘致前の課題

課題③ 専門人材の不足

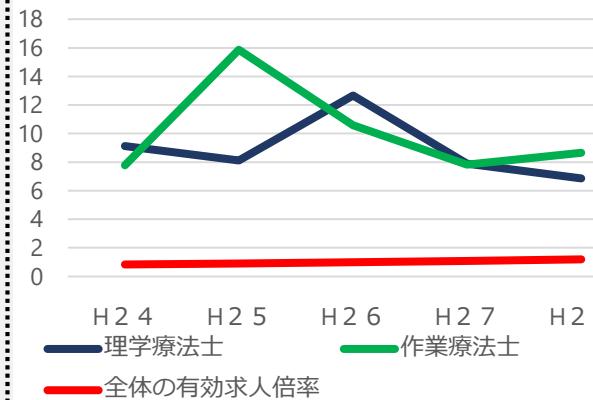
看護師

有効求人倍率（看護師等）



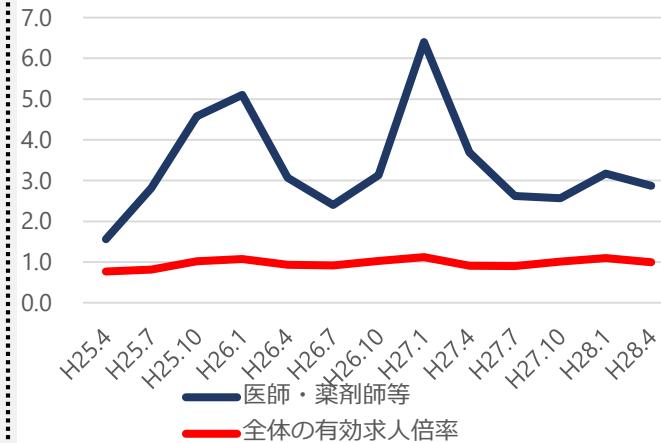
理学・作業療法士

有効求人倍率（理学・作業）



薬剤師

有効求人倍率（医師・薬剤師）



看護師を目指す学生の市外流出

年度	市外の学校に進学する高校生		
	大学	専門学校等	計
H25	58	33	91
H26	41	57	98
H27	53	43	96

- 平成27年度の平均の有効求人倍率は2.08倍
- 有効求人数は常に300人を超過し、平均の不足数は178人
- 新規についても有効求人倍率は2.75倍となっており、毎月76人程度の不足が生じている

リハビリ系を目指す学生の市外流出

理学	県外に進学する高校生		
	大学	専門学校等	計
H26	70	30	100
H27	76	25	101
H28	56	29	85

作業	県外に進学する高校生		
	大学	専門学校等	計
H26	35	14	49
H27	24	18	42
H28	27	26	53

- 平成27年度の平均の有効求人倍率は3.80倍
- 県内に薬学系大学が無いために、毎年県内から100名近い生徒が県外に流出
- 毎年市内から 60名近い生徒が県外に流出
- 和歌山県の薬剤師の年齢別構成は、34歳以下で17.8%に対し、55歳以上で40.2%と高齢化が進んでいた

医療分野以外にも、**保育士・幼稚園教諭**などの教育分野において、保育士・幼稚園教諭の求人倍率がH27で2.90倍、H28で2.20倍と不足していた

専門人材の確保の必要性

誘致前の課題 / まちなかへの大学誘致

課題④ 小中学校の閉校、小中一貫校開校に伴う学校跡地の有効活用

雄湊小学校（H28閉校）



東京医療保健大学
(旧雄湊小学校)



平成30年4月開学

収容定員数360人
和歌山看護学部看護学科

看護師

総事業費 約6.3億円
(うち市支援 約4億円)
工期 約9か月 (H29.7-H30.3)

本町小学校（H28閉校）



和歌山信愛大学
(旧本町小学校)



平成31年4月開学

収容定員数320人
教育学部子ども教育学科

保育士等

総事業費 約7.4億円
(うち市支援 約4.9億円)
工期 約8か月 (H30.1-H30.8)

耐震化済み廃校舎等の活用により、
大学側の初期投資と整備にかかる工期を大幅に軽減（縮減）

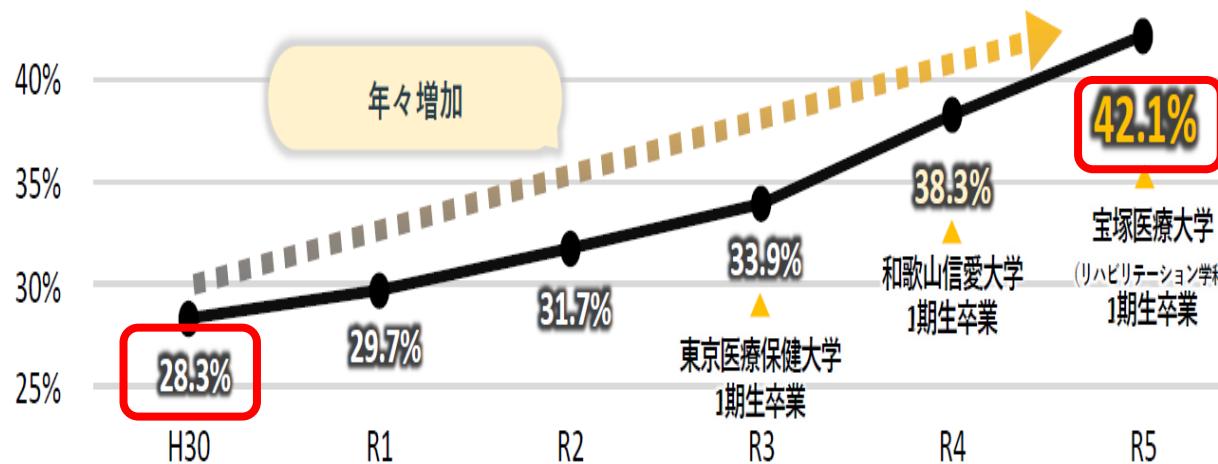
大学誘致の成果

高校生の県外進学率ワースト1脱却

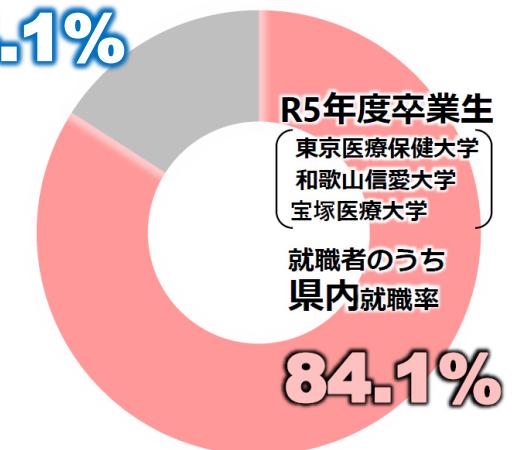
和歌山県	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27
県外進学率順位	↑4 1	4 2	↑4 2	4 6	↑4 6	4 7	4 7	4 7	4 7
県外進学率(%)	80.71	81.17	82.20	84.00	85.72	87.78	88.62	88.79	89.56
県内進学率(%)	19.29	18.83	17.80	16.00	14.28	12.22	11.38	11.21	10.44
県内高校生数	4225	4392	4366	4520	4364	4272	4324	4373	4280
県内進学数	815	827	777	723	623	522	492	490	447

40年以上続いていたワースト1からついに脱却し、R5で41位まで改善。

市内大学卒業生の県内就職率13.8%増加



誘致大学卒業生の県内就職率 84.1%



まちなかへの大学誘致の成果

広がる地域とのつながり

大学主催イベントや市民向け公開講座の実施による
地域住民とのつながり創出

子育てイベント



市民公開講座



大学生による社会貢献活動

大学生がイベントやボランティア活動に参加すること
による社会貢献や賑わい創出

ボランティア活動



地域の祭りへ参加



世代を超えた若者のつながり

大学生が市内中学生・高校生向け体験授業を行うなど世代を超えて交流



今後も、地域に
根差した高等教育
機関となるよう、
連携してまいります

ご清聴ありがとうございました